

作成日：2019年 4月 5日

作成日：2022年 3月28日

## 製品安全データシート

整理番号：M-602

### 1. 製品及び製造者情報

製品名 : 抗菌365  
推奨用途 : 鮮度保持シート  
会社名 : 株式会社セハージャパン  
住所 : 〒110-0016 東京都台東区台東1-32-8  
担当部門 : 営業部  
電話 : 03-3839-7531  
ファックス : 03-3839-7532  
緊急連絡先 : 同上

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類基準に該当なし  
有害性 : 該当しない  
危険性 : 可燃性物質であり、着火源があれば燃える。  
消防法の指定可燃物（政令別表第四）に該当する。  
特定の危険有害性 : 特になし

### 3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合製品  
下記繊維を水流にて交絡させたもの。  
化学名/成分及び含有量 : 1) ポリエチレンテレフタレート/ポリエチレンテレフタレートコポリマー  
2) ビスコースレーヨン繊維  
化学式又は構造式 : 1)  $-[\text{OCH}_2\text{CH}_2\text{OCO}(\text{C}_6\text{H}_4)\text{CO}]_n-$  / 非開示  
2)  $\text{H}-(\text{C}_6\text{H}_{10}\text{O}_5)_n-\text{OH}$   
CAS No. : 1) 25038-59-9/24938-04-3  
2) 61778-77-0  
危険有害成分 : 化学物質管理促進法の対象物質及び労働安全衛生法の通知対象物質に該当しない。

### 4. 応急処置

眼に入った場合 : 眼球を傷付ける可能性があるため、塵が眼に入ったら清浄な水で十分に洗浄する。  
皮膚に付着した場合 : 特記事項なし  
吸入した場合 : 燃焼時に発生するガスを多量に吸引した時は、新鮮な場所に移す。咳、呼吸困難な症状があれば医師の診断を受ける。  
飲み込んだ場合 : できるだけ吐き出させ、必要な場合は医師の手当てを受ける。

### 5. 火災時の処置

消火方法 : 一般の火災としての消火方法を適用する。  
一般の火災同様CO、CO<sub>2</sub>ガスが発生するので注意すること。  
消火剤 : 水噴霧及び粉末・泡沫・炭酸ガス消火剤が有効。

### 6. 漏出時の措置

人に対する注意事項 : 特になし  
環境に対する注意事項 : 製品が外部に流出し、環境への影響を起こさないように注意する。  
除去方法 : 一般塵芥と同様に掃き集め、回収する。

---

**7. 取扱い上の注意**

- 取扱い時 : 安全上は特に問題なし。  
保管 : 消防法の指定可燃物に該当するため、当該法に基づく保管をする。  
雨水等がかからないように保管する。  
高温多湿、直射日光を避けて保管する。

---

**8. ばく露防止措置**

- 管理濃度 : 該当しない  
許容濃度 : 該当しない  
設備対策 : 通常の実取扱いでは不要ではあるが、紙粉が発生するような加工を行う場合、状況に応じて局所排気・洗眼対策を行う。  
保護具 : 通常の実取扱いでは不要であるが、状況に応じて保護眼鏡・保護マスクを着用する。

---

**9. 物理／化学的性質**

- 外観等 : 不織布  
融点 : プリエチレンテレフタレート 110℃ (低融部分)  
250～165℃ (主体部分)  
セルロースは溶融しない  
溶解度 : 水に不溶  
セルロール部は酸・アルカリに抵抗性が弱い。

---

**10. 安定性及び反応性**

- 安定性・反応性 : 一般的な貯蔵、取扱いにおいて安定である。  
危険有害な分解生成物 : 通常の実取扱いや保管では特に生成しない。

---

**11. 有害性情報**

- 急性毒性 : なし  
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : なし (但し、紙粉・塵が眼に入れば異物としての刺激がある)  
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激 : なし (但し、紙粉・塵が眼に入れば異物としての刺激がある)  
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 情報なし  
生殖細胞変異原性 : 情報なし  
発がん性 : 情報なし  
生殖毒性 : 情報なし  
特定標的臓器毒性  
単回ばく露 : 情報なし  
反復ばく露 : 情報なし  
吸引性呼吸器有害性 : 情報なし

---

**12. 環境影響情報**

- 生態毒性 : 情報なし  
残留性・分解性 : 情報なし  
生態蓄積性 : 情報なし  
土壌中の移動性 : 情報なし  
オゾン層有害性 : 情報なし

---

**13. 廃棄上の注意**

- 焼却する時は、管理された焼却設備を用いて、廃棄法・大気汚染防止法・水質汚濁防止法に沿って処理処分する。  
廃棄法の産業廃棄物に該当するため、廃棄法に従って処理する。

---

#### 14. 輸送上の注意

荷崩れを起こさないように注意する。  
火気に注意する。

---

#### 15. 適用法令

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

消防法 : 指定可燃物（政令別表第四）ぼろ及び紙くず

化学物質管理促進法 : 含有しない

労働安全衛生法通知対象物質 : 含有しない

---

#### 16. その他

記載内容の取扱い : 記載された内容は、入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、記載のデータや危険、有害性の評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。又、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

記載された注意事項は通常の手取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、ご使用者の責任において、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

すべての化学物質には未知の危険性、有害性が存在するという認識で、開封から保管、廃棄に至るまで、細心の注意を払ってご使用ください。

本品の適正に関する決定は、使用者の責任において行ってください。